

第5回よこはま保健医療プラン策定検討部会会議録	
日 時	令和5年12月25日（月）19時00分～19時42分
開催場所	横浜市役所18階会議室みなと1・2・3/Zoom
出席者	浅見剛委員、生田純也委員、石川ベンジャミン光一委員、牛丸良子委員、河村朋子委員、久保田充明委員、寺内康夫委員、中澤明尋委員、二宮威重委員、平元周委員、伏見清秀委員、松浦正義委員、三角隆彦委員、吉村幸浩委員
欠席者	赤羽重樹委員
開催形態	公開（傍聴者0人）
議 題	（1）パブリックコメントの実施結果について（報告）【資料1】 （2）よこはま保健医療プラン2024原案（案）について（議題）【資料2・3】
決定事項	
議 事	1 開 会 2 議 事 （1）パブリックコメントの実施結果について（報告）【資料1】 （2）よこはま保健医療プラン2024原案（案）について（議題）【資料2・3】 （伏見部会長） 次第の2（1）パブリックコメントの実施結果について、（2）よこはま保健医療プラン2024原案（案）について、一括して事務局から説明をお願いいたします。 （事務局山木係長） ＜資料1～3について説明＞ （伏見部会長） ありがとうございました。ただいま事務局より、パブリックコメントの実施結果及びよこはま保健医療プラン2024原案（案）について、説明がありました。 ご質問・ご意見がありましたらお願いいたします。Zoomでご参加いただいている方は「手を挙げる」機能をご利用ください。それでは、よろしくをお願いいたします。いかがでしょうか。 （事務局山木係長） 事務局からです。寺内委員、糖尿病の指標を少し変えたり追加させていただいたのですが、そちらについていかがでしょうか。 （寺内委員） ありがとうございます。寺内です。公的な数値で、かつ定期的に比較ができるという意味で、NDBなどの数値を指標にしており、今回の指標については妥当なものと考えます。以上です。 （伏見部会長） ありがとうございます。今回のプランは、横長の見やすい形にしていろいろ工夫されていると思いますが、感想等も含めて、ご意見がありましたらお願いします。

	浅見委員、いかがでしょうか。 (浅見委員) 精神科の浅見です。大変見やすくなっていると思います。精神疾患に関しましては、素案からほぼ修正はなく、素案のときにもすばらしいと思っていましたので、原案についてもよいと思っております。 (伏見部会長) ありがとうございました。ほかにご意見いかがでしょうか。生田委員、お願いできますでしょうか。 (生田委員) 私は地域ケアプラザの所長として出席していますので、特に関係があるところは26・27ページの「高齢者を支える地域包括ケアの推進」かと思いますが、フレイルについてのコラムが大変よくできていると感心しています。オーラルフレイルも含めて、これを地域で高齢者対応をしているようなところに「こういうものだよ」と出してもそのまま通用するように分かりやすくできていると思いました。特に修正等の指摘はありません。以上です。 (伏見部会長) ありがとうございます。ほかの自治体の医療計画と比べても、保健医療プランはなかなか見やすくてよいのではないかと思います。 では、石川委員、コメント頂けますでしょうか。 (石川委員) 石川です。これまでに内容を吟味していただいておりますけれども、内容自体が非常によくまとまっていることと同時に、今回のよこはま保健医療プランというのは、このIT化の時代の中で、いろいろな場所で非常に使いやすい資料になっていると思います。今までの冊子対応をベースとした文章中心のものではなく、それぞれのページでデータと方向性等を示しており、非常に分かりやすいものとなっていると思います。こうした資料をまとめてくださった事務局の皆様に本当にお疲れ様でしたとお伝えしたいのと同時に、このような計画がほかの県などいろいろなところに広まっていくとよいと思っているところです。 (伏見部会長) どうもありがとうございます。では、牛丸委員、お願いしてよろしいでしょうか。 (牛丸委員) 私も、市民向けにとっても分かりやすく、ぱっと見た目も分かりやすくなっているので、とてもよいと思っております。 (伏見部会長) ありがとうございます。河村委員、お願いいたします。 (河村委員)
--	---

	ありがとうございます。パブリックコメントの結果を見ると、市民の方から「具体的なことが知りたい」という声が多いと感じます。この計画は、おそらくこれからこういうことをしますよということを書いているものと思いますが、実際に、市民の方がこの計画冊子を使えるのかというと、それはまた別の話になるのだと思います。そういったものもあるといいなと思っていたところです。以上です。 (伏見部会長) ありがとうございます。事務局から何かコメントありますか。 (事務局山本係長) ご意見ありがとうございます。保健医療プランは、確かに、直接市民の方に届く施策よりは間接的に、医療や福祉などの関係者に対しての施策が多く、おっしゃるとおり、市民の方が直接見て何かに使うといった内容は少ないと思います。フレイルのコラムなど、先ほど生田委員からも地域でそのまま使えそうとおっしゃっていただきましたが、横浜市の医療に関する情報を市民の皆様に周知していくところではまだまだ課題があると思っております。これから事業を展開していくときにもこの点を踏まえて進めていきたいと思っています。 (伏見部会長) どうもありがとうございました。松浦委員、お願いいたします。 (松浦委員) 松浦です。私も民生委員としてフレイル予防というのに力を入れていきたいと思っております。フレイルとオーラルフレイル両方を、地域の方々にもっともっと知っていただいて、やっていきたいなと思っております。私も来年75歳になりますが、このグラフを見ると、75歳になると急にフレイルの割合が上がっているようですので、フレイル予防をしっかりとやっていきたいと思っております。 (伏見部会長) どうもありがとうございました。それでは、久保田委員、いかがでしょうか。 (久保田委員) 薬剤師会の久保田です。保健医療プラン、大変分かりやすくまとまっており、事務局の皆さんのご苦勞があつてのことだと思います。ありがとうございます。このプランより少し遅れて神奈川県保健医療計画の素案がまとまりました。県の計画と若干異なるところは、生活習慣病に対する予防の意識かなと思っています。県の計画のほうを見ると、健診の受診率を上げるところから、その後の保健指導、特に特定保健指導につないでいくというところを重要視して書いてあります。私の自分の薬局でも認定栄養ケア・ステーションを持っていて特定保健指導をやっているのですが、興味のある人がやって来るので、特定保健指導の結果、データの改善につながる人が多いです。今後、横浜市でも、そういった視点にももう少し意識してもらえるとよいのではないかと考えて見ておりました。以上です。 (伏見部会長)
--	---

	ありがとうございました。事務局のほうで何かコメントありますでしょうか。 (事務局岩松課長) ご意見ありがとうございます。健康福祉局健康推進課の岩松です。私どものほうで所管しております「健康横浜21」ですが、現在、第3期計画を策定しているところです。久保田委員にご指摘いただきました、特定健診の受診勧奨や特定保健指導の実施率向上のための取組につきましては、「健康横浜21」において、健康診査や糖尿病等の疾患などのテーマで、行政及び関係団体の取組の中に記載がございます。国民健康保険のデータヘルス計画などとも連携しながら啓発をしていこうというところでございます。以上です。 (伏見部会長) どうもありがとうございました。では、中澤委員、いかがでしょうか。 (中澤委員) ありがとうございます。私は整形外科医なのでフレイルのところを見させていただいたのですが、非常によくまとまっていてよいと思います。ぜひ協力したいと思います。ありがとうございます。 (伏見部会長) どうもありがとうございました。では、二宮委員、ご意見、ご感想等ありますでしょうか。 (二宮委員) 歯科医師会の二宮です。私自身の感想としましては、まず、これは本当に分かりやすく、素晴らしいものになっていると思います。作成していただいた事務局の方に感謝しています。この計画は6年間の計画であり、最新のデータがふんだんに盛り込まれています。今後、これを生かしていくために、市内の保健や医療の関係者に、このプランをぜひ広めていっていただけたらと思います。恥ずかしながら私も昔、こういう計画があるということを知りませんでした。これまでの計画も拝見させていただきましたが、非常に興味深く勉強になりますし、医療にとって大変役立つものとなっていますので、ぜひ今後、この計画が承認され、プランが実施されていく2024年度以降、医療関係者等に広めていっていただけたらと思います。以上です。 (伏見部会長) ありがとうございました。事務局のほうで周知や広報等について、何かありますでしょうか。 (事務局山木係長) 事務局山木です。ご意見ありがとうございました。具体的にはまだ決めていませんが、周知には力を入れていきたいと思っております。また、その際には、皆様にご相談させていただきながらになるかと思っておりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
--	---

	(伏見部会長) どうもありがとうございます。では、平元委員、コメントいただけますでしょうか。 (平元委員) 平元です。非常によくまとまっている内容だと思います。ただ、今度、働き方改革になって、救急の在り方など、制限されないといったことを言っていますが、現場としてはやはりかなり影響を受けると思います。そういう点では、一般の方に救急のかかり方というか、例えばいわゆるコンビニ受診といったようなことをしないような、そういった教育的なことはやはり必要ではないかと思しますので、ご検討いただければと思います。 (伏見部会長) ありがとうございます。事務局のほうはいかがでしょう。 (事務局大庭部長) 地域医療部長の大庭です。医療局では、救急の適正利用に向けて、＃7119を推進しております。専門の看護師に相談し、実際に救急車を呼ぶべきか、あるいは近隣のお医者さんにかかるべきかといった判断するのに役立っている制度になっております。引き続き、そういった事業を進めながら、また、関係団体の皆様にもご相談させていただきながら、より適正な救急医療について、推進していきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。 (平元委員) ＃7119については、私も救急業務検討委員会等に入っているのですが、最初の頃は、ある程度専門の看護師が従事していたと思いますが、今の状態はどのようなのですか。委託業者に丸投げして、その業者が人材を集めてきて、何かあれば救急車で行ってくださいと判断しているようなケースが増えているのではないかと懸念しているのですが、そうした実態の調査はしているのでしょうか。 (事務局大庭部長) ありがとうございます。業者に委託して運営しているというのは事実ですが、その都度検証し、こちらからも様々なフィードバックをさせていただきながら、より適正な形で推進しようと努力している状況です。先生がおっしゃるとおり、いろいろな懸念はあろうかと思いますが、適宜、情報交換しながら、より適正な判断ができるようにということで頑張っているところです。また何か、今後、応援をいただけると、さらにより制度になろうかと思しますので、ご協力をお願い申し上げます。 (平元委員) ＃7119は非常により制度だと思いますが、電話を受ける看護師の質についても、きちんと確認しながら今後進めていただきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。
--	---

	(事務局大庭部長) ご意見ありがとうございました。 (伏見部会長) どうもありがとうございました。それでは、三角委員、コメントいただけますでしょうか。 (三角委員) 済生会東部病院の三角でございます。僕は前回もよこはま保健医療プラン策定検討部会に参加させていただいていたのですが、全体を通じて、今回は前回にも増して、いろいろなデータの信憑性などよく検討された数字を使い、それらが反映されてよいものができたなと思います。それから、皆さんも言われているとおりですが、大変見やすいと思います。読む気がするような冊子ができたとしますので、この計画に関わってきた事務局の方々、本当にご苦労様と言いたいと思います。文言の修正など、まだ細かいところで修正は可能ですか。 (事務局山木係長) 事務局です。まだ対応可能です。 (三角委員) では、細かいところですが、ぜひ反映していただきたいと思います。28ページの「現状と課題」の下から2つ目、「鶴見区内～」というところ。「地域医療連携ネットワーク」となっているのですが、この「サルビアねっと」というのは、もう一つの売りとして「地域医療介護連携ネットワーク」ですので、「介護」という言葉をここにぜひ入れてください。 (事務局山木係長) 大変失礼いたしました。修正いたします。 (三角委員) 29ページのコラムにはそのように書いてあるので、28ページにもやはり入れておいていただきたいと思います。細かいところで申し訳ありません。よろしくお願いします。以上でございます。 (伏見部会長) どうもありがとうございました。それでは、吉村委員、コメントいただけますでしょうか。 (吉村委員) 横浜市民病院の吉村と申します。感染症に関して、できる限り見させていただきました。全体としては、先ほどから委員の先生方が言われているように、非常に見やすくなっているということと、今後来るべき感染症に対して備えるという意味では、具体的にしっかり提示していただき、僕ら医療現場で働く者や保健所の保健師の先生方なども、実際これを参考に準備しやすいと思いましたので、非常にすばらしいと思います。
--	---

	細かい点ですが、2点お聞きしたいところがあります。74ページの今回の原案から新たに赤字で加わったところですが、左下に「衛生研究所の最大検査実施体制」という表があります。これは、流行初期も流行初期以降も、両方とも240ということでしょうか。拡大はしないのでしょうか。 (伏見部会長) 事務局、いかがでしょうか。 (事務局赤松部長) ありがとうございます。医療局健康危機管理担当部長の赤松です。これはまず、最初に検査体制が揃うまで、最大240件やっていくという状況でございます。今回の新型コロナウイルス感染症の状況を考えますと、民間の検査会社に徐々に広がっていきますので、このあたりの数字かなというところで決めています。ほかの政令市の衛生研究所、あるいは県下の衛生研究所も、ほぼ同じような状況で設定しています。 (吉村委員) では、どちらかというと、件数は変えないで、現場の病院や検査会社に拡大していくという理解でよろしいですか。 (事務局赤松部長) そうですね。蔓延期には衛生研究所単体でやるのではなくて、民間の検査会社に委託するという形で、協定等もそれを含めてやっていくということで、県とそれぞれ保健所設置市で協定等の調整を行う予定になっております。 (吉村委員) ありがとうございました。もう一つだけ、細かくて申し訳ないのですが、77ページの右下の赤で追記された「ICT」というのは「インфекションコントロールチーム」のことでよろしいでしょうか。 (事務局赤松部長) この記載は、今回の新型コロナ対応で、Teamsを使ってデジタルで健康観察などをやったというもので、デジタル化の話でございます。患者さんの健康観察をご自分でスマートフォンやタブレットを使ってやっていただくという意味合いが入っております。 (吉村委員) 「ICT」だけだと分かりづらかったので、フルスペルにしたり、解説を追記したりするなど、ぜひ可能な範囲で修正をお願いします。以上です。 (事務局赤松部長) 分かりました。ありがとうございます。 (伏見部会長) どうもありがとうございました。事務局には、もう少し具体的に改善していただけるとよいかなと思います。ほかに全体を通して、ご意見、コメント等はいかがで
--	---

ようか。

(生田委員)

すみません、先ほど言えばよかったのですが。先ほどもお話しましたが、コラムがいくつかあって、これらのコラムがあることで、数字だけでなく、計画のエッセンスになっていると思います。コラムがとても印象深いのですが、目次からは探せないんですよね。目次がざっくりした書き方になっていて、18ページにはⅢ章以降の見方もありますが、コラムについても、目次のような形でまとめていただくと、そこから探せるのではないかなと思いました。もしそういったことができるのであれば、ご検討をお願いします。例えば、フレイルについても、目次からはフレイルという言葉自体を探せない。でも、中を見ると、フレイルについても細かい説明があったり、人生会議なども目次からは探せないのですが、コラムで説明しています。コラムには、今、市としてこれから盛り上げていきたいものが載っているのではないかと思いますので、そういうものを一覧にするなどして、このページに書いてあるということが分かる記載があるとよいかなと思いました。

(伏見部会長)

コメントありがとうございます。事務局、いかがでしょうか。

(事務局山本係長)

そうした点は思い至らなかったところです。貴重なご意見をありがとうございます。コラムだけでよいのかという点もありますが、逆引き目次のようなページについても検討し、最終的な計画の策定までに整理したいと思っております。

(伏見部会長)

ありがとうございます。コラムの一覧が載っているような書籍もあるかと思うので、ぜひご検討いただきたいと思います。どうもありがとうございました。

ほかにご意見、コメント等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、皆様、どうもありがとうございました。今回が最終回となりますので、本日いただいたご意見については、事務局にて調整の上、原案としてとりまとめ、1月16日の保健医療協議会に報告という形にしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

<異議なし>

(伏見部会長) どうもありがとうございます。

3 その他

(伏見部会長)

それでは、議題の3、その他、事務局よりお願いいたします。

(事務局丸山課長)

	<事務局から今後のスケジュール等について説明> 4 閉 会 <医療政策部長より挨拶> (伏見部会長) それでは、本日の議事は終了となります。2年間にわたりご協力いただき、誠にありがとうございました。	
資 料 ・ 特記事項	資料 1	よこはま保健医療プラン2024素案に関するパブリックコメントの実施結果
	資料 2	よこはま保健医療プラン2024原案（案）
	資料 3	よこはま保健医療プラン2024素案からの修正箇所一覧
	参考資料 1	よこはま保健医療プラン策定検討部会設置要綱
	参考資料 2	委員名簿